

中国

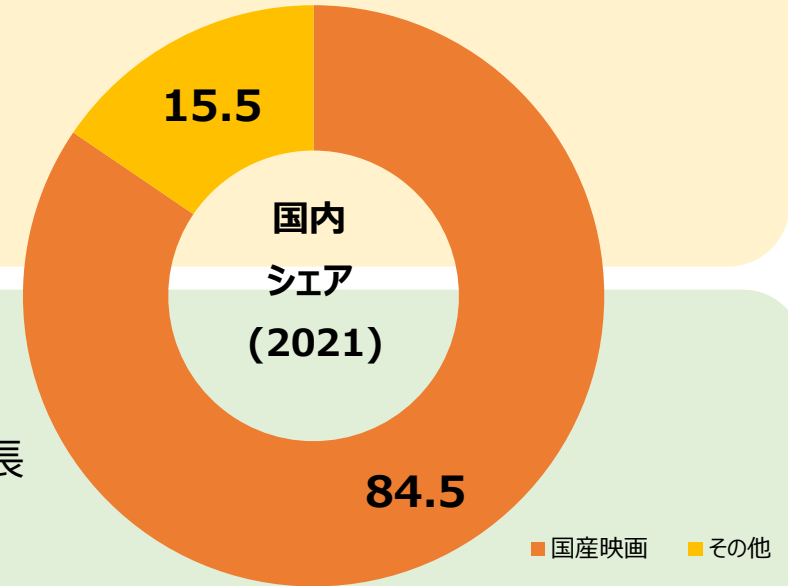


映画産業

- ・映画市場は5年で150%近い成長を遂げスクリーン数8万超
- ・制作本数も700本超でインド、アメリカに次ぎ3位
- ・市場の成長とともに制作費が年々高騰
- ・外国映画に量的制限があり、国内外すべての作品に検閲が行われる

国内市場

- ・市場規模は世界1位（日本の約5倍）
- ・国産映画のシェア50-60%で推移していたがコロナ禍で80%超に伸長
21年市場は中国映画中心でパンデミック前の82%まで回復している



市場データ (2021年)

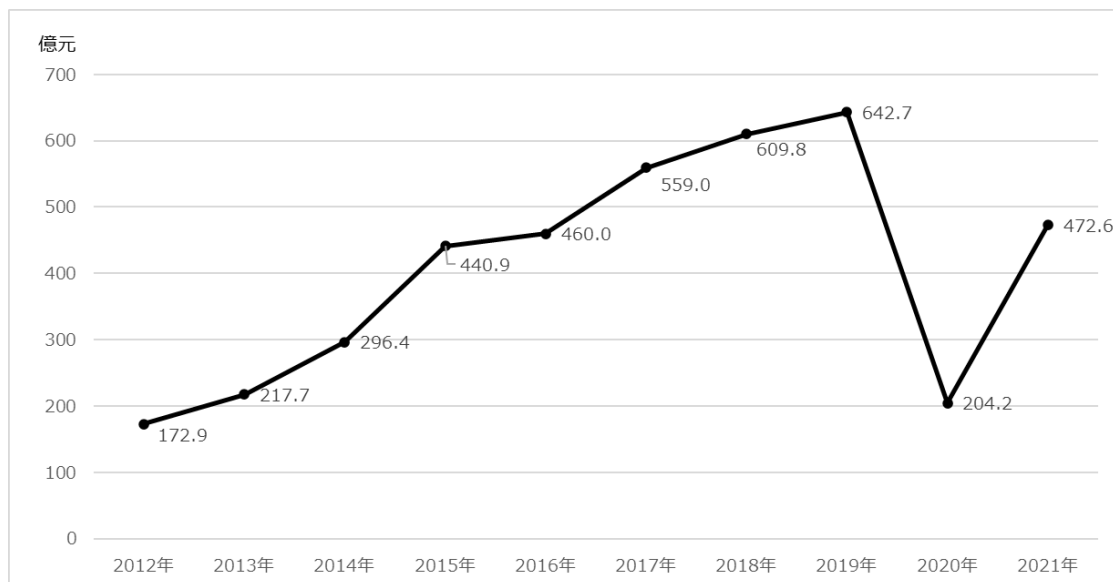
・国内興行収入:	472.6億元	(2019年: 642.7億元)
・国内の劇場動員数:	11.7億人	(2019年: 17.3億人)
・国内のスクリーン数:	82,248	(2019年: 69,787)
・平均チケット価格:	40.5元	(2019年: 37.2元)
・一人あたりの年間平均入場回数:	0.8回	(2019年: 1.2回)
・マーケットシェアにおける国産映画の割合:	84.5%	(2019年: 64.1%)
・映画製作本数:	740本	(2019年: 1,037本)

中国の国内市場規模

1. 興行収入 (2012-2021) ¹

* 市場規模は急速に成長。2020 年は減少したが、2021 年は前年から 200%強回復。北米を抜き世界第 1 位の規模である。

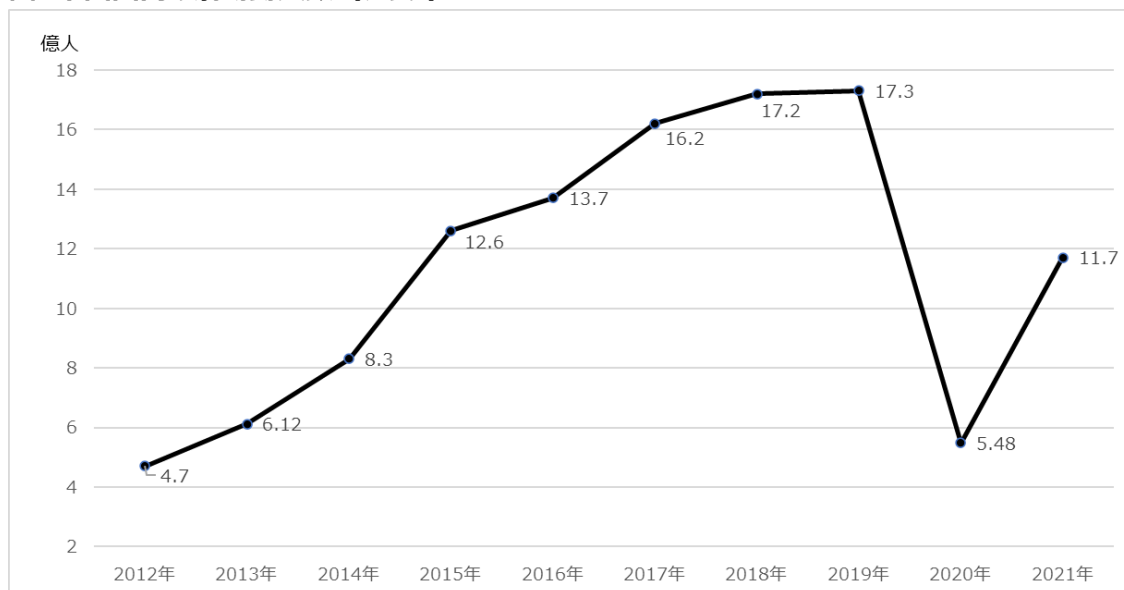
図 中国国内の劇場興行収入 (グラフ)



2. 動員数 (2012-2021) ²

* 動員数も興行収入と比して増加。2020 年は落ち込んだが、2021 年は興行収入と比例して前年の 200%強に回復。世界一位。

図 中国国内の劇場動員数 (グラフ)



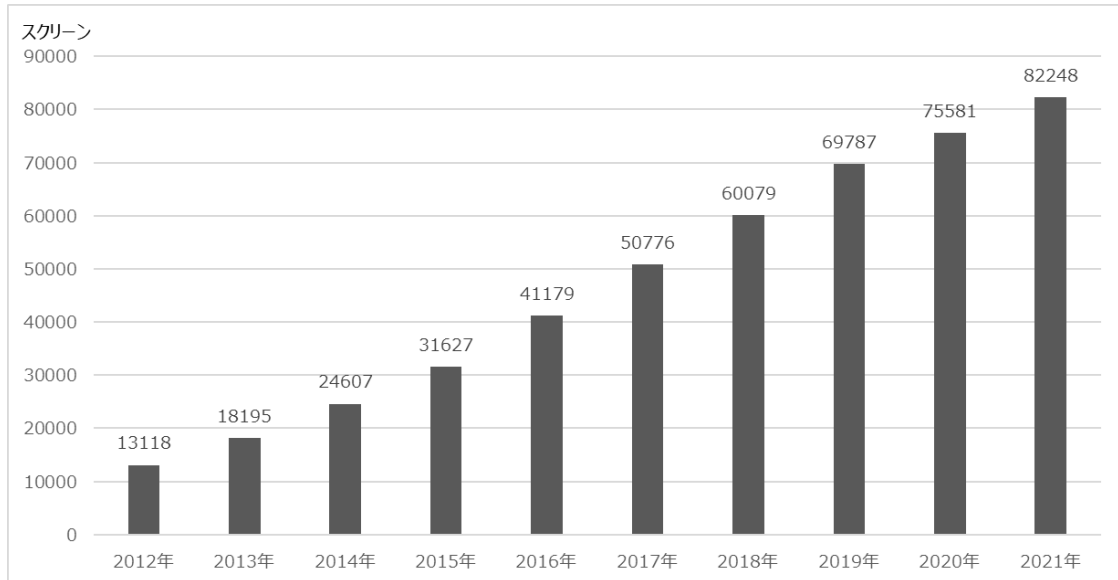
¹ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成

² 同上

3. スクリーン数 (2012-2021) ³

*スクリーンは急激に数を増やし、2021年は80,000スクリーンを超え、世界1位の数である。

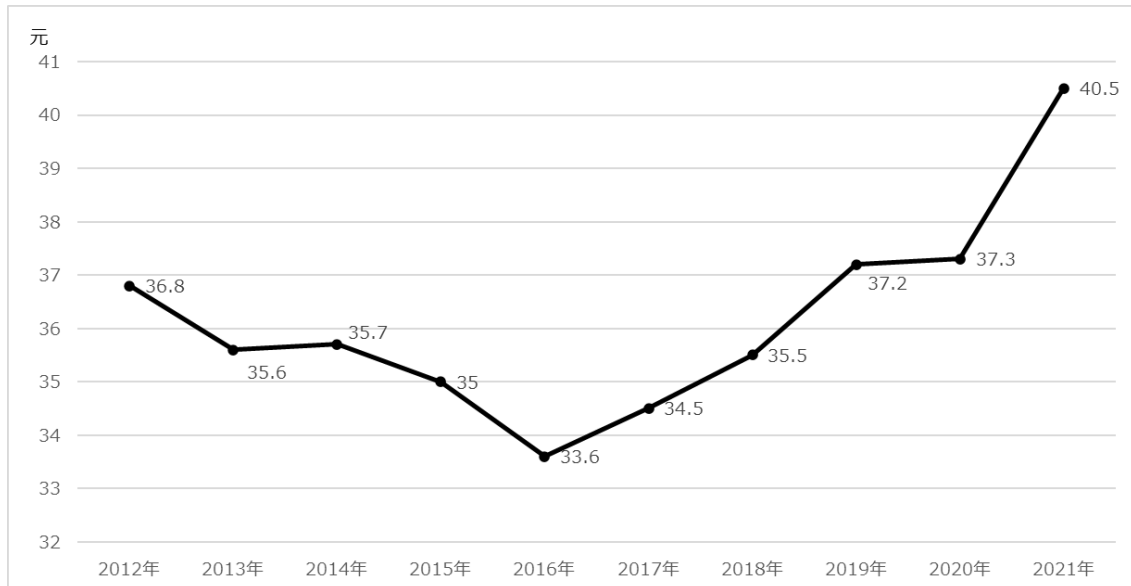
図 中国国内のスクリーン数 (グラフ)



4. 平均チケット価格 (元) (2012-2021) ⁴

*チケット価格は一時値下がりしたが、現在は40元を超えた。

図 中国国内の平均チケット価格 (グラフ)



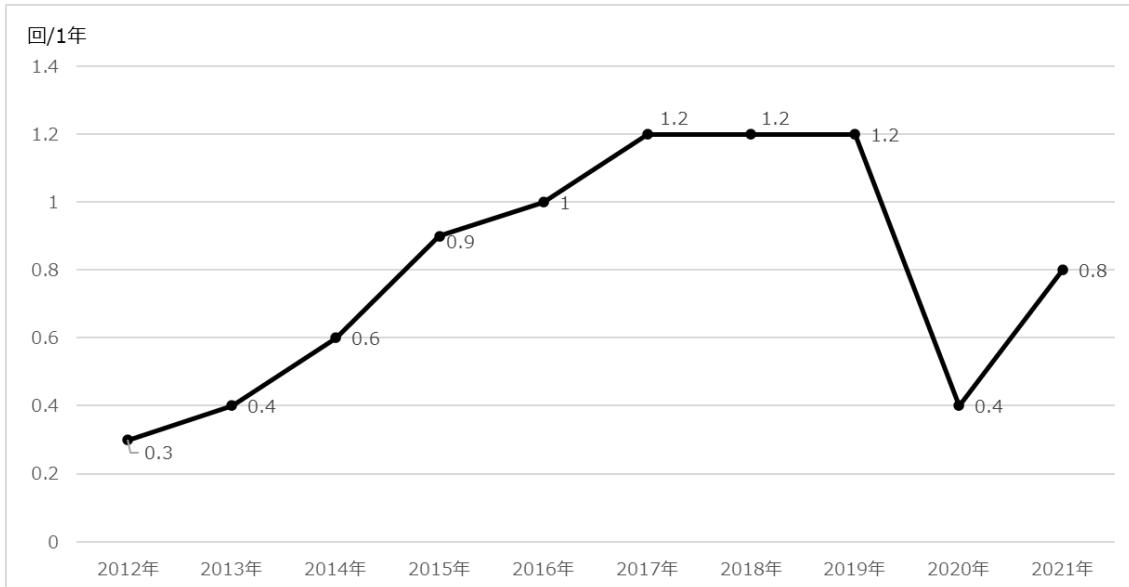
³ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成

⁴ 同上

5. 一人あたりの年間平均入場回数（2012-2021）⁵

* 映画先進国と同等の数に増えていた入場回数も、2021年は前年比200%に回復した。

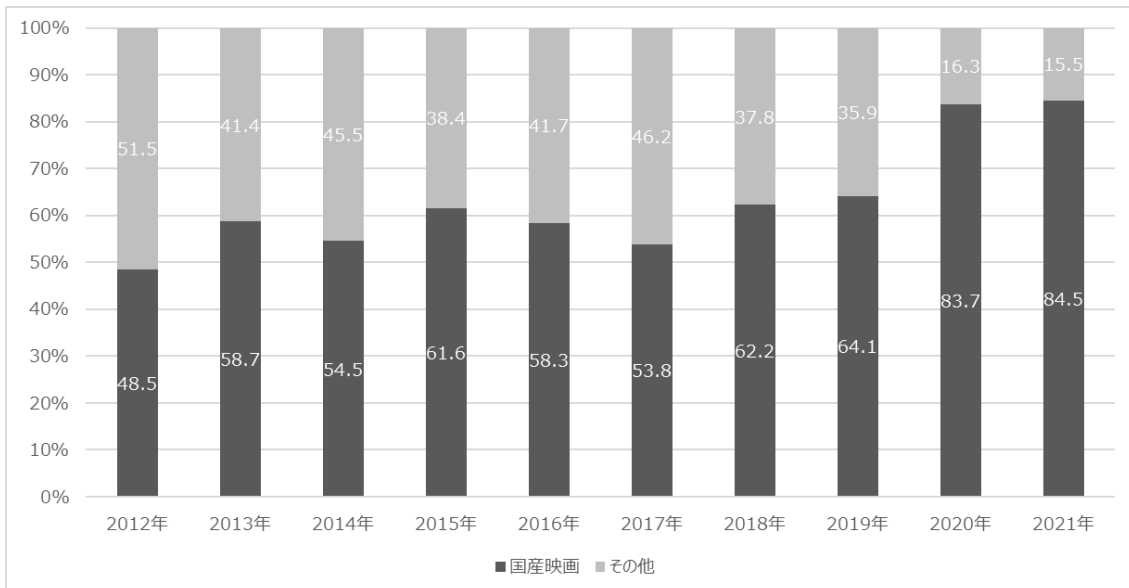
図 中国国内の一人あたりの年間平均入場回数（グラフ）



6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2012-2021）⁶

* クォータ制度も影響し国産映画の割合は常に半数以上。近年は8割を超えている。

図 中国国内のマーケットシェアにおける国産映画の割合



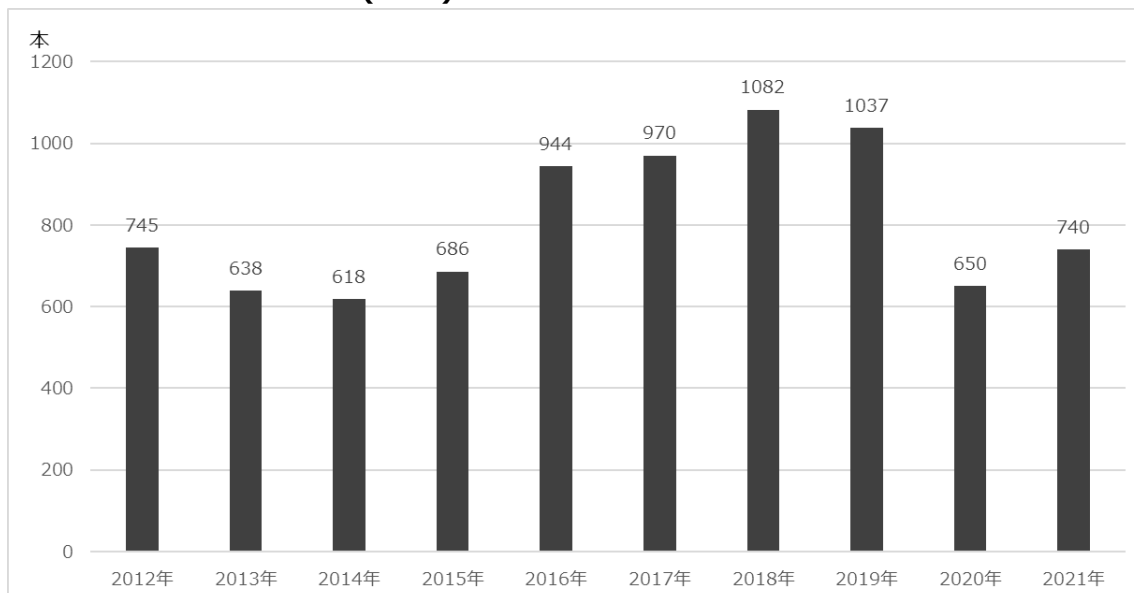
⁵ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成

⁶ 同上

7. 映画製作本数（2012-2021）⁷

* 製作本数は 2018 年に 1000 本を突破、2021 年は 700 本を超え、世界第 3 位である。

図 中国国内の映画製作本数(グラフ)



〔注釈〕国際共同製作の本数に関する定点的なデータはないため、記載しない。

⁷ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成